第26回

ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会

議 事 録

日 時 2025年(令和7年)2月5日(水) 午後1時30分

場 所 本庁舎 5階 5-1会議室

藤沢市 計画建築部 都市計画課

●午後 1 時 3 0 分開会

●挨拶（都市計画課）

●資料確認（都市計画課）

●成立宣言（都市計画課）

- ・委員15名が出席により成立

●会議、資料の公開（都市計画課）

- ・本日の協議会の議題は全て公開
- ・配付資料、会議録についてはホームページ等で公開する

●議題の確認（都市計画課）

●傍聴希望者の確認（都市計画課）

- ・傍聴希望者0名

●議題（１）協議会の取組（案）について

○岡村会長 それでは、議題（１）協議会の取組（案）について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局（都市計画課） まず資料はお手元のA4のカラー刷りの資料になります。先日、事前にお送りしました資料から、内容の大きい変更は特にしておらず、地図上の注記等の追加のみをしている状況になりますのでご承知おきください。

議題1「協議会の取組（案）について」、ご説明いたします。まず、前回の協議会でご説明した協議会の取組について、再度確認をさせていただきます。

ふじさわサイクルプランでは、3つの基本方針に基づき、自転車に関する様々な施策を展開しておりますが、市民の方をはじめ、自転車に関連する方々がお集まりいただいている本協議会においても、今後2年間の任期の中で、基本方針に関連した協議会としての取組を進めていきたいとご説明しました。

今回の協議会では、前回の協議会でいただいた、課題や提案、ご意見などをもとに、事務局で作成した取組（案）をご説明させていただき、意見交換をしながら取組を決定していきたいと考えております。

続きまして、前回の協議会でいただいたご意見についてご説明いたします。いただいたご意見としては、交通ルールやマナー違反への対策やマナーやモラルの周知、自転車と健康を関連させた情報発信、外国人向けの自転車に関する情報発信、安心して長くとめられる駐輪場の確保といった意見が5点ほどあげられました。

協議会の取組（案）を検討するに当たり、いただいたご意見と現在の取組状況を整理いたしました。まず、①交通ルールやマナー違反への対策、②自転車のマナーやモラルの周知については、基本方針2「自転車を安全に利用できるまちづくり」において実施しておりますが、社会的にも自転車のルールやマナーの向上が叫ばれていることから、さらに周知が必要であると考えました。

次に、③自転車と健康を関連させた情報発信については、基本方針3「自転車を活用したまちづくり」において実施しておりますが、健康的な側面を強調した内容を実施しておらず、この点は取組を進めたいと考えました。

続いて、④外国人向けの自転車に関する情報発信については、自転車での観光に関しては、多摩大学の産官学民連携にて、外国人観光客向けのサイクリングコースの作成を観光課・観光協会とともに行っている状況です。

最後に、⑤安心して長くとめられる駐輪場の確保については、基本方針1「自転車の利用環境が整うまちづくり」の駐輪環境整備において実施しています。また、協議会として取組む範囲が限られると考えています。

以上のようなことから、①と②に関して自転車のルールやマナーの周知を行うととも

に、③自転車と健康を関連させた情報発信について、取り組みたいと考えております。

この自転車と健康を関連させた情報発信と自転車のルールやマナーの周知については、動画を作成し、ホームページや市役所のデジタルサイネージなどでの掲載を考えています。基本的な方向性としては、立ち止まって視聴されることを期待して、長くても1分程度にすることや、音声がなくともわかるように字幕を表示するようになりたいと考えています。また、専門的な視点でポイントを掲載することとし、例えば、健康に関することであれば、健康づくり課に監修の協力を依頼していきたいと考えています。

今回、健康づくり課に協力を依頼するにあたって、健康づくり課が進める「歩くプロジェクト」と連携して、取組を進めていきたいと考えています。これは、自転車に徒歩を組み合わせることによって、自転車では気づきにくい街の魅力を発見できることや、どこでも借りられてどこでも返せるシェアサイクルを組み合わせることで、行動範囲が広がり、お出かけの幅が広がることを期待しているためです。このことから、歩いてブラブラする「散歩」と自転車でブラブラする「ポタリング」を組み合わせたいと考えています。

動画のイメージ例としては、散歩で辿り着いた目的地から、帰りはシェアサイクルを使ってポタリングで戻ることを想定し、散歩では「徒歩」、ポタリングでは「自転車」の健康に関する効果を紹介する。併せて、「自転車のルール」や「自転車安全利用五則」、整備が進む自転車通行空間のルールを紹介することを考えています。このような内容に関する題名やキャッチフレーズについて、良いアイデアがありましたら、後ほどの質疑応答時にご発言いただければと思います。

ご紹介した動画イメージの場面については、例えばスライドのように考えました。大きな構成としては、まず、お散歩に自転車を組み合わせてみませんかといった投げかけから始まり、歩くことや自転車の健康的な効果を紹介し、自転車を使うに当たってのルールの紹介という場面展開を考えています。本日の協議会では、ご紹介した動画イメージにとらわれず、皆様からご意見を頂戴して、作りあげていきたいと考えておりますので、後ほどご意見をいただきますようお願いいたします。

また、今後の動画の作成に当たっては、協議会の会議以外で有志による作業部会を開催して、進めていくことも考えておりますので、ご協力いただけるようでしたら、事務局までお申し付けいただくか、今後、作業部会の開催に当たって照会させていただきますので、その際にご回答いただければと思います。

最後に作成した動画の掲載場所については、都市計画課のホームページや市役所のデジタルサイネージを考えています。また、認知度を高めるため、市の公式LINEなどで動画のURLを添付して周知を行うことも考えています。また、健康づくり課の、ふじさわ歩くプロジェクトのSNSでの発信を行うなどの動画の周知も行うほか、協議会委員の皆さまのうち、事業者様の皆さまがお持ちの動画掲載できるようなコンテンツがあれば、掲載のご協力をお願いしたいと考えておりますので、ご検討のほどよろしくお

願いたします。以上で、議題1「協議会の取組（案）について」の説明を終わります。

●議題（1）協議会の取組（案）について（質疑）

○岡村会長 この会議では、通常、それぞれの取組を紹介いただくというところですが、これは協議会としての取組というところですので、ご自由な意見を頂ければと思いますが、何かございますか。

○A委員 動画作成の案、どうもありがとうございました。すごくいいアイデアだと思っております。特に構成動画のイメージ案は、このまま使えるのではと思っております。ここですぐに細かいアイデアが出せなかった場合は、個別に後でメールとかで送らせていただいてもよろしいでしょうか。

○事務局（都市計画課） 大丈夫です。

○A委員 例えば、今思いつく事として、対象者別に合わせて作ってもいいかなと思います。例えば30代メタボ用とか、シニア夫婦用とか、それぞれで健康度合いが違ってくると思うので、一概に動画1本ではなく、色んなバリエーションを作るような展開も、よろしければご提案をさせていただければと考えております。ちなみに、今後は予算をつけて展開する予定とかあるのでしょうか。

○事務局（都市計画課） 動画の作成については、予算化は考えておらず、職員の手元の作業で行う予定です。出来栄を期待されると、そこまではないかもしれませんが、イメージとしてデジタルサイネージ等で使えるような、少し動きがある広告のようなものを考えております。職員がパソコンで何とか工夫して作ることを想定しているので、工夫や技術があれば、教えていただければと思います。

○A委員 例えば、もしどなたか出演されるとなった場合、市役所の方が出演していただくことも可能でしょうか。

○事務局（都市計画課） 予算を使って有名な方へ出演していただくといったことは考えていないですが、場合によっては職員が出演するということは、あり得るかもしれません。それは、動画作成のイメージによって、対応を検討させていただきます。

○A委員 健康面においては、多摩大やSFCなど、どなたか大学の先生をお招きして健康

講座をやるといったことも可能でしょうか。

○事務局（都市計画課） 今のところ、健康面に関する専門的な知見は、庁内の健康づくり課等の部署と協力を行っていきたいと思っております。外部の方ですと、費用的な部分もあるので、庁内の部署と協力して作っていかうと思っております。

○B委員 スライドの8の動画の話なのですが、自転車安全利用五則というのは、どのようなものでしょうか。例えばヘルメットをつけましょうとか、そういうものなのでしょうか。

○事務局（防犯交通安全課） 自転車安全利用五則は、藤沢市の公式LINEで毎月5日と22日の自転車マナーアップ運動の日に、公式LINEに載せております。内容が、1が「車道が原則、左側を通行歩道は例外、歩行者を優先」、2が「交差点では信号と一時停止を守って安全確認」、3が「夜間はライトを点灯」、4が「飲酒運転は禁止」、5が「ヘルメットを着用」となっております。

○B委員 自転車安全利用五則を掲載することは、もちろん重要かと思いますが、こういうルールは、みんな頭ではわかっているけども、破る方も多いのかなと思います。結構他人事な部分があるので、実際にヘルメットを着用しなかったことで、何かこういう死亡事故が起きてしまったとか、自転車の飲酒運転をしてしまったことで、こういう事故がありましたとか、こういう罰則がありますとか、こういう事故が藤沢市では多いですとかの実際の事例を掲載すると、想像がしやすくなって、怖いからヘルメットを着用しようなどに繋がっていくのではないかなと思いました。

○事務局（都市計画課） より効果的に理解をしてもらえるように、工夫をしていきたいと思えます。

○C委員 今、自転車安全利用五則について話がありましたが、これに今年の11月1日から、自転車における“ながらスマホ”の罰則強化というものが加えられて、厳罰化になっております。五則に加えて、“ながらスマホ”運転はダメというものも、何かの機会に追加するなり、単独でこういった注意事項をやられたらいいかと思えます。

○岡村会長 ありがとうございます。他はどうでしょうか。最後9ページで動画の掲載場所・掲載候補があり、ここが大事かなと思います。最近では動画をスマホで見る機会もあるかと思えますので、動画の形を、横長ディスプレイの形だけでなく、スマホで見られるような縦長でも想定されているのでしょうか。一般的にリールとかの、静止画を繋げたような動画も縦長でスマホで見るようになっているので、作成の手間はあるかと思えますが、もし

どなたか詳しい方がいれば、そのあたり教えてもらえればと思います。

○A委員 それは、技術的に全然問題ないです。再生するものに合わせて作ることが出来るので、どのような形でもいけると思います。

○事務局（都市計画課） 当初の動画のイメージが、広告が動くようなイメージだったので、スマホ向けというのは考えておりませんでした。藤沢市の公式LINEで配信ということもあるので、作成の形式については検討してみます。

○A委員 デジタルサイネージについては、例えば江ノ電さんとか小田急さん等に、協力してもらうことは可能でしょうか。例えば、駅にあるモニターや電車内でのモニターに流すといったことも可能でしょうか。

○D委員 弊社の場合ですと駅と電車の車内にございますので、場合によってはご協力というのは可能かと思います。

○岡村会長 ありがとうございます。他はいかがでしょうか。これは、協議会として進めるということになりますので、皆さま、こういう形で進めるということによろしいですか。

（異論なし）

○岡村会長 では、なかなか大変かと思いますが、ぜひよろしくお願いします。また、メンバーの皆様もよろしくお願いします。

●議題（2）湘南台駅周辺の自転車通行空間整備計画について

○岡村会長 それでは、議題（2）湘南台駅周辺の自転車通行空間整備計画につきましてご説明をお願いいたします。

○事務局 議題2「湘南台駅周辺の自転車通行空間整備計画について」、ご説明いたします。
スライド11ページをご覧ください。まず、鉄道駅周辺の自転車通行空間整備について、ご説明いたします。ふじさわサイクルプランでは、基本方針1「自転車の利用環境が整うまちづくり」において、安全で快適な自転車通行空間の整備として、鉄道駅周辺の自転車通行空間整備計画を策定し、整備を進めることとしております。

スライド12ページをご覧ください。この鉄道駅周辺の自転車通行空間整備計画においては、駅周辺では、自転車を含む多くの交通と歩行者であふれていることから、駅周辺の

交通の特徴を踏まえ、歩行者との安全性により着目した鉄道駅周辺の自転車ネットワーク路線を設定し、整備を進めることとしております。

スライド13ページをご覧ください。この鉄道駅周辺の自転車通行空間整備計画を策定する対象としている鉄道駅は、自転車の利用が多い駅のうち、駅前交通広場がある「藤沢」「辻堂」「長後」「湘南台」の4駅としています。このうち、藤沢駅と辻堂駅については、すでに計画を策定し、自転車通行空間の整備を進めていることから、今回は、自転車利用が「藤沢」「辻堂」に次いで3番目に多い、湘南台駅を対象に計画の策定を行います。

スライド14ページをご覧ください。次に、鉄道駅周辺の自転車ネットワーク路線の選定について、ご説明いたします。鉄道駅周辺の自転車ネットワーク路線の選定に当たっては、お手元にお配りしています「鉄道駅周辺の自転車走行空間整備計画書」に基本的な考え方を記載しており、スライドに示している4つのステップが基本フローとなります。

まず、ステップ1として、鉄道駅周辺自転車通行空間エリアの範囲を設定します。次に、ステップ2として、駅周辺の道路状況を踏まえ、「駅中心部」と駅周辺を直線的に結ぶ路線を候補選定します。さらに、ステップ3として、自転車関連事故が多く発生している路線、歩道がない通学路、大規模商業施設関連路線を候補選定し、最後に、ステップ4として、自転車の利用実態を踏まえて、ネットワーク路線を決定します。湘南台駅においても、このフローに基づき自転車ネットワーク路線の選定を行いましたので、順番にご説明いたします。

まず、ステップ1については、駅から約500mの範囲で設定し、エリアの外周は道路とします。なお、スライドの地図上に黒線で示している路線は、ふじさわサイクルプランで設定している「将来ネットワーク路線」を表しています。この「将来ネットワーク路線」は、ふじさわサイクルプランにおいて、安全で快適な自転車ネットワークの形成に向けて、市内全域で路線を選定し、設定しているものです。

次に、ステップ2については、湘南台駅東西の交通広場を中心としたエリアを「駅中心部」として設定し、「駅中心部」と近傍の将来ネットワーク路線とを結ぶ路線を自転車利用者の通行経路として捉え、候補路線としました。

ステップ3については、ピンクで示す自転車関連事故が多く発生している路線や、黄色で示す歩道がない通学路がある路線、大規模な商業施設の関連道路を候補路線としました。

最後にステップ4については、利用実態を把握するため、駅周辺のエリア内で実態調査を実施し、候補路線の選定を行いました。

実態調査については、2024年11月中旬から2025年1月中旬の平日のうち9日間で、朝夕のピーク時間帯である午前7～8時と午後5～6時に、東西併せて45箇所の交差点で、自転車の方向別交通量を調査しました。

湘南台駅周辺の利用実態については、スライドに示すとおりです。とくに朝は、駅周辺の大規模な駐輪場に向かう路線の通行が多くみられました。また、エリア北側から駅方面に向かう場合は、エリアの東西にある幹線道路と線路沿いの道路に通行が集中する傾向が

ありました。これは、エリア北側から駅方面に向かう際には、エリア中央を東西に結ぶ「都市計画道路高倉遠藤線」を横断する必要がありますが、幹線道路であり横断する場所が限られること、小田急江ノ島線をアンダーパスで交差するため、アップダウンが大きいことから、東西と線路沿いの道路に集中するものと考えられます。

以上の内容を踏まえて、スライドに示すような湘南台駅周辺の自転車ネットワーク路線（案）を作成しました。赤で示しているのは歩道がある路線、青で示しているのは歩道がない路線となります。

この鉄道駅周辺のネットワーク路線や駅中心部での整備形態については、歩道のある路線では、スライド左側に示すように車道混在による整備として矢羽根の設置、歩道がない路線では、スライド右側上段に示すように左側通行の路面標示による整備を行います。また、駅中心部については、スライド右側下段に示すように、自転車押し歩きを促す案内を車止めや路面シートなどを用いて整備を行うこととなっております。

最後に、今後のスケジュールについてです。まず、実施スケジュールについては、ふじさわサイクルプラン（藤沢市自転車活用推進計画）【実施計画】に定められており、現時点では、令和7年度までの策定と令和8～10年度に整備を行う計画となっております。また、計画策定までの今後の予定につきましては、今回説明させていただいた、鉄道駅周辺の自転車ネットワーク路線やその他対策箇所について、関係機関と協議を進め、湘南台駅周辺の自転車通行空間整備計画書（案）としてまとめ、来年度の協議会において報告させていただきたいと考えております。以上で、議題2「湘南台駅周辺の自転車通行空間整備計画について」の説明を終わります。

- 岡村会長 議事2につきまして、何かご質問、ご意見等ございましたらお願いをいたします。
- 岡村会長 一般に、駅周辺は整備が難しいというのがあり得るかと思いますが、湘南台駅周辺の場合は、自転車通行台数や駐輪場の配置等を考えて作っていくということで、計画上特に問題はないでしょうか。
- 事務局（都市計画課） 藤沢駅や辻堂駅と比べ、湘南台駅は区画整理で整備された道路のため、比較的道路幅員が広く、これまでの駅に比べ整備はしやすいと考えています。
- E委員 湘南台に自転車で行ったことがないので、もしこの中で湘南台駅に自転車で行っている方、通勤されている方などがいらっしゃったら、混み具合や危険なものとか、ぜひご意見を伺いたいです。
- 事務局（都市計画課） 実態調査をした結果をスライドでご説明します。朝方の交通量調

査の結果になりますが、水色から濃い赤にかけて利用が多くなることを示しており、湘南台駅西口側では市営駐輪場にめがけて、善行長後線を通って北から来る交通や、あるいは南側から交差点部に集まってきて集結するというルートが非常に多いポイントになっています。逆に、駅周辺の交通広場においては、西口側では朝方の交通量はあまり多くなく、東西に延びる幹線道路の北側でも、中の道路では自転車の交通量はあまりないという状況にありました。また、線路に平行して南北に伸びる道路がありますが、これも比較的利用が多い状況にありました。

続いて東口側では、地下駐輪場の入口にめがけて、東側から来る路線や北側エリアからは線路際と通ってくるというルートや、南側からは線路際や国道467号線を通ってくる交通が多くなっているという状況にあります。

次に、夕方の5時から6時の時間帯では、朝と比較すると全体的に色が濃くなっており、割と全面的な利用が見られる状況です。特に、東口側では、駐輪場だけでなく、商業スーパー等の近辺からも自転車が発生しているところもあり、万遍なく利用が多いという形になっています。

- 岡村会長 これに即して、ネットワーク路線を設定するという事で、他にご意見がなければ、本議事としては進めてもらえればと思います。

●その他

- 岡村会長 その他ということで、何かご質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

- F委員 前回お願いしました、境川沿道サイクルロードの環境整備の件ですが、大分木を伐採頂きましたが、まだまだ自然木の太いものが残っております。気候変動等でいつ大雨が降るかわからず、その場合、木が邪魔をしてあふれる可能性があり、夏になれば枝葉も茂ってもっと残念な状況になると思われまます。同地区は、平成16年藤沢市まちづくり賞に選定されており、白旗地区の住民の尽力により手入れがされているだけに、行政による更なる計画的な整備をお願いしたいと思ひます。

- 事務局（都市計画課） 前回の協議会でもご意見いただきまして、河川の管理が神奈川県管理になりますので、そちらの方の担当の部署の方にお伝えし、伐採の作業を進めると聞いております。それを受けて、作業が進められたと考えているのですが、不足の状況だということであれば、再度お聞かせ願ひたいと思ひます。

- F委員 場所は、境川の御殿橋から大清水中学校くらいまでのところす。前回の会議で願ひして、県の担当だということす、かなり大きな木は切つて頂いたのですが、まだま

だ自然の木が川へ向かって伸びている状況です。これで終わらず、今後ともやっていただければありがたいなと思います。

○岡村会長 その他に、何かご質問等ある方はいらっしゃいますでしょうか。

○A委員 2点ほどあるのですが、最近外国人の方のサイクリストが非常に多くなってきているのは良い感じかなと思うのですが、見ていてルールやマナーを理解されていない外国人サイクリストの方が非常に目立つような気がしております。レンタサイクルでは、おそらく貸し出すときにいろいろな周知を徹底されると思うのですが、シェアサイクルをよく使われているような外国人の方が、日本でルールとかそういったものを、どこまでよく理解されているのかというのは非常に疑問に思っております。

昨年、道路交通法で自転車ルールも強化されましたが、実際に、検挙されたり切符を切られたり、そういった問題等への対処というのが、具体的に何かあったのかというのを、お聞きしたいなと思います。

あと一点、鵜南小学校から旧東海道線のあたりの鵜沼海岸引地線に平行している引地川緑道はサイクリングコースではないと思いますが、そこが自転車や犬の散歩、ジョギングなど、非常に狭い緑道の中でカオスな状態になっており、自転車を押して歩くなどの指示もないため、いずれ大きな事故が起きるのではないかと懸念しています。鵜沼海岸引地線に、矢羽根もひかれていないので、自転車もそちらの道路を走りにくいということもあり、緑道を走ってしまうのではと思うのですが、今後何か対策を考えていらっしゃるかをお聞きしたいと思っています。

○事務局（防犯交通安全課） 外国人の自転車の安全利用に関する呼びかけについては、市のホームページの関連情報の中に、「ふじさわ生活ガイド動画」として、外国の方へ向けたやさしい日本語という取組をやっており、現在、そこへ交通安全の部分を追加するよう、作成中となっております。大体、4月くらいにはホームページへアップする予定となっております。検挙数等については、市の方で把握しておりませんが、警察の方でわかるものはありますでしょうか。

○G委員 外国の方をどれだけ検挙したという統計的な数字は把握しておりません。もし必要があれば調べてみますが、藤沢北署管内で、外国人の方の悪質交通違反の検挙というのは、令和6年に関してはありません。

○事務局（都市計画課） シェアサイクルに関しては、江ノ電さんの方で、外国人向けの交通ルールやマナー啓発がどうなっているかわかりますでしょうか。

○D委員 現状について、正確なところは把握できておりませんが、シェアサイクルはアプリを利用して借りる形であり、ハローサイクル全体のシステムの話になるので、江ノ電だけで出来る範疇を超えているかと思います。

○事務局（都市計画課） シェアサイクル事業については、神奈川県を中心に湘南地域の協議会として実証実験という形で行っているため、今の課題の対応については、検討するという形で進めさせていただきたいと思っております。

○岡村会長 ありがとうございます。他いかがでしょうか。大体よろしいでしょうか。議事としてはこれで終了ということで、進行を事務局にお返しします。

○事務局（都市計画課） 本日は、お忙しい中、長時間にわたりありがとうございました。お帰りになって何かお気づきになった点、ご意見、ご質問などがございましたら、都市計画課までご連絡をいただければと思います。また、本日、お車でご来場いただき、朝日町駐車場をご利用の方は、この後、事務局までお声掛けください。次回の第27回ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会の日程につきましては、令和7年6月頃の開催を予定しております。改めてお知らせしますので、よろしくお願ひします。

以上を持ちまして、「第26回ふじさわサイクルプラン推進連絡協議会」を終わらせていただきます。ありがとうございました。

●閉会 午後2時25分